

成果指標				
成果指標	民具等有形文化財の収集、整備保存を実施			
指標設定の考え方	本市の、民具等有形文化財の収集、整備保存を推進し、展示及び教材化を図るとともに、施設の維持管理有効利用に努める。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	5	5	0	0
実績	3	3	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	文化財展示の広報活動の工夫			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	民具の分類整理が進んだので、図書館新館開館に合わせて展示について検討していく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	現在は、民具の保管場所として活用しており、ふれあい館としての機能を果たしていない。地元の方の意見も伺いながら今後の運営方針を早急に決定する必要がある。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。